

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第52報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
環境監視部門 生物圏係  
令和8年3月23日

## 1.最も数が多かった種類(優占種)

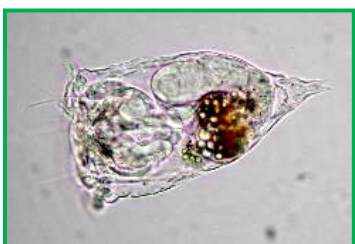
### 植物プランクトン第1優占種



*Cryptomonas* sp.  
(クリプトモナス)  
褐色鞭毛藻綱

体はやや扁平な長楕円形で、頂端は凹んで発達した陥入部を形成しています。陥入部から伸びたほぼ等しい長さの2本の鞭毛を使って、進行方向を軸に回転しながら泳ぎます。大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、オリーブ色などさまざまです。

### 動物プランクトン第1優占種



*Synchaeta oblonga*  
(ナガマルドロワムシ)  
ワムシ類

体は透明な鐘形で足は短く、先端の趾(あしゆび)は微小です。頭冠は幅広で、前面には4本の長い剛毛があり、両端には長い繊毛をもつ耳状の突起があります。琵琶湖、瀬田川に分布するワムシの中で、よく見られる種類の一つです。

### コメント

植物プランクトンは、細胞数・体積ともに褐色鞭毛藻に属するクリプトモナス(*Cryptomonas* sp.)が優占種となりました。網別の体積では、褐色鞭毛藻が約44%、珪藻が約33%、次いで黄色鞭毛藻が約21%となりました。動物プランクトンは、ワムシ類のナガマルドロワムシ(*Synchaeta oblonga*)が優占種となりました。ピコ植物プランクトンは、今週は1,000細胞/mL未満の計数結果となりました。

今回の調査においても、植物プランクトン、動物プランクトンともに組成に大きな変化はありませんでした。植物プランクトンの体積についても、2月半ばから1か月程度著しく少ない状態が続いていますが、水温の上昇等で一気に増加する可能性があるため、引き続き注意が必要です。

## 2.計数された主なプランクトンとその数(個体数)\*

### (1)動物プランクトン

第 1 優 占 種		(個体/L)
ワムシ類	<i>Synchaeta oblonga</i>	180

第 2 優 占 種		(個体/L)
ワムシ類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	100

\* 個体数は、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測しました。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

～第52報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
環境監視部門 生物圏係  
令和8年3月23日

## (2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	数		体積
		数	体積	
(黄鞭) <i>Chrysoamoeba radians</i>	20			
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	72		○	
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	4			
(珪) <i>Melosira varians</i>	2			
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	40			
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	160	○		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	36			
(珪) <i>Asterionella gracillima</i>	4			
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	20			
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	80			
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	200	◎	◎	
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	60			
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	8			
(他) <i>Merotrichia capitata</i>	1			
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	96	13.6	20.6	
(珪) 珪藻綱	342	48.4	33.3	
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0	
(褐) 褐色鞭毛藻綱	260	36.8	44.4	
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0	
(緑) 緑藻綱	8	1.1	0.4	
(他) その他のプランクトン	1	0.1	1.3	
総細胞数	707	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	7.88E+05	
種類数	14			

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)  
ただし\*印の種は群体数(群体/mL)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値です。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G励起で撮影

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	細胞数/mL
(藍) <i>Synechococcus</i> sp.	<1000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 $\mu\text{m}$ (1 $\mu\text{m}$ は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。